

## H. P. R e p o r t

## インターネットの落とし穴 (2)

前回インターネットの落とし穴としてコミュニケーショントラブル、ネットストーキング、金銭的トラブル、有害情報などについて書きました、このうち、有害情報については言葉足らずになっていたので、今回はそこから始めます。

有害情報としてまず思い浮かぶのがわいせつ画像ですが、これは非常に多くのホームページが国内だけでなく全世界に渡って存在し、内容についてはいろいろあるようです。これまでであれば印刷物で流通していたものが情報として流れているわけですから、たちが悪いのかもしれませんが。また、これまでインターネットの速度が遅かったため情報量も少なかったものが、高速化され、常時接続化されるようになると、静止画が動画となりいっそう問題になってくるかもしれません。中には別な回線に自動的につながり、後から高額の通信料の請求が来るなど危ないものが多いものこのサイトです。その他の有害サイトとしては、流通が不法なものについてはいろいろなものがあります。薬物情報や自殺や犯罪を助けるもの、中には核爆弾の作り方までインターネット上にはのっています。薬物情報にしても、麻薬や覚せい剤の取引情報、医者処方箋が必要な催眠導入剤の流通情報、薬物使用の体験談から見た人に興味を抱かせるような情報など実際取り締まる場合にも個人の表現の自由からなかなか難しいものまでいろいろあります。誰にも簡単に自分の情報を流すことができるだけにすべてが取締りの対象になるかといえば難しいものかもしれません。また、インターネットには国境がありませんから、他の国で問題になってしまう場合もあります。

このような違法、有害情報への対処方法ですが、フィルタリングソフトの利用と、子供であれば子供用検索エンジンの利用があります。まず、子供用検索エンジンですが、これは一般でつかわれるYahooやInfoseekなどのように情報を検索する場合に、生表現や暴力表現など子供に悪影響を及ぼす情報をあらかじめ遮断して検索結果を表示するようになっているホームページです。フィルタリングソフトはコンピュータに流れ込む情報を一定の判断基準を設けて取捨選択するソフトウェアで、一般的に使われているブラウザでも一種のフィルター機能は持っています。このフィルタリングソフトにはデータベースがあり、そのデータベース該当するサイトへのアクセスができないようになっています。しかし、違法、有害サイトは常に変化し、できたり無くなったりを繰り返しているため、フィルタリングソフトも常にデータベースを更新する必要があります。この点はコンピュータウィルスのワクチンソフトと同じような面があります。このような対処方法は、家庭で使う子供のパソコンや学校、公共機関で使うパソコンなど管理者がいて対処するものですから、自分で使うパソコンに入れる人はいないかもしれません。しかし、インターネットを見て違法であったり、有害な情報を表示しているサイトがあった場合は、そのホームページのあるプロバイダに連絡して情報の削除を求めたり、警察へ連絡したりすることができます。しかし、販売するほうも、学校や公共機関での利用が想定される場合などにはフィルタリングソフトの紹介を行うことも必要なかもしれません。

次に金銭トラブルへの対処方法です。これが最も陥りやすい落とし穴かもしれません。前回も書きましたが直接相手が見えるわけではないのと、相手が個人であっても成り立ってしまうためいろいろな場合が考えられます。外国旅行でのクレジットカード詐欺が自宅でも起こりうるのです。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 4月9日号

特集 21世紀の顔

→日経エレクトロニクス創刊30周年特集。21世紀これからのについて誰に問いかけ、耳を傾けたいかを読者アンケートで決定。1位はソニー社長。続いてLinuxの開発者などの順。混沌とした時代に、新しい一步を踏み出したいとの流れがある。

解説 J a v aはケイタイを救えるか

→携帯電話市場は成長しているが、既存ユーザの買い替えという弱い基盤の上に成り立っている。世界的に進む携帯不況の中で、J a v aは次の段階にステップアップすることができるか。

○日経パソコン 4月16日号

特集 インターネットの常識

→何気なく使っているインターネット。一步基本に立ち返って、ネットワーク、ブロードバンド、W e b、メール、セキュリティ、インターネット危険地帯の各部に分けて常識を紹介。

特集 ワイヤレスで快適インターネット

→ネットに接続するなら邪魔な通信ケーブルはないほうがいい。実際にワイヤレスでインターネットを利用するにはどうすればいいか。ルータを交換するワイヤレスダイヤルアップルータ。既存のネットワーク機器を利用するものなど、具体的に紹介。

○日経オープンシステム 4月号

特集 バックアップを極める

→昔はD A Tやカセットデータテープが普通だったバックアップ。サーバの容量も数十G Bが普通となり、到底全部がバックアップすることもできず、実際にやると時間がかかりすぎてしまう。高速で大容量なバックアップ機器から、現実的なバックアップの考え方まで。基本をきちんと押え、変化に対応できる情報を持っていることが重要。

検証 A Pサーバの特性による性能の違い

→リクルートの実施したA Pサーバの性能検証。J a v aを使ってプログラムの性能テストを実施。

○日経ネットビジネス 4月10日号

特集 旅行業界動く

→旅行業界で「e革命」の波が押し寄せている。航空会社、ホテルなどの供給者側がネット直販を推進し、これまでの旅行代理店との構造変化がおきている。航空3社は共同で航空券販売サイト「国内線. c o m」を立ち上げ、ホテル、旅館も自社W e bサイトからの予約比率を高めている。旅行業のE Cの市場規模は2005年に2兆円を超え、他の業界に先駆けた最先端市場になる。

フロントライン 「iモード卒業組」を狙い撃ち

→P D A向けコンテンツ配信サービスがよいよ離陸する。P a l m O S向け、J a v aに対応したザウルス向け、W i n C E向けが出揃う。

○DOS/V magazine 5月1日号

特集 最新マザーボード春のグランプリ

→新チップセットが出揃いマザーボード市場が活気づいている。RAMはDDR SDRAMに対応し、マザーボードメーカーは自社製品の差別化のためにいろいろ工夫を凝らしている。価格、性能、何をもってマザーボードを選べばいいのか。

特集 使わないと損する!? CD-RW

→CD-R/RDのドライブは普及してきているがつかっているのはCD-Rが中心。書き換えのできるCD-RWの誤解を解いて、パケットライトソフトを利用してCD-RWを使う。

特集 無線LAN安心導入ガイド

→実際に無線LANを使った場合の検証。他社製品間の接続テスト、台数による速度の変化、距離による速度の変化など。実際に採用するには興味のある特集。